

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書 3章16節aより



きょうかいがっこういはい
教会学校礼拝プログラム

2026年 2月15日

前奏
*賛美
お祈り

聖書
交説詩編

説教

暗唱聖句

默想タイム
*賛美
献金と感謝のお祈り

お知らせ

*賛美
*祝福
後奏

「ぼくの心の中が」

天にいらっしゃいます父なる神さま。いつも私たちをお守りください、ありがとうございます。今日から始まる新しい週も、イエスさまの愛のうちに歩ませてください。イエスさまは、私たちがつらい時や悲しい時に、その苦しみをわかってください、慰め、共に歩んでくださいますから感謝いたします。今週も、教会学校に連なるひとり一人の健康をお守りください。イエスさまの御名をとおして、み前にお祈りいたします。アーメン

マタイによる福音書11章28~30節 (p20)

交説詩編(5) 詩編24より《まねきのことば(6)》 p.12

「共に歩んでくださるイエスさま」

イエスさまは、「すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔軟で心のへりくだつた者だから、私の轭を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。わたしの轭は負いやすく、わたしの荷は軽いからである」(マタイ 11:28~30)と言われます。

「重荷」とは、自分にとって、とてもつらいこと、しんどいことです。私たちが生きていくときに、背負いきれないくらいの「重荷」を背負っていかなければならないことがあります。

「轭」とは、2頭の牛や馬に木の枠をはめて、その木の枠に荷車をつないで引かせ、畑を耕す作業に使われます。イエスさまは、イエスさまの愛の轭で、あなたの重荷を、苦しみを一緒に負いましょうと言われます。イエスさまは、最も弱く、小さくされた人のところに来てください、慰め、支え、共に歩んでくださいます。

「すべて重荷を負って苦労している者は、わたしのもとへ来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」

マタイによる福音書11章28節

「新しい天と地を見たとき」 (21-580)

24-1

天にましますわらの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いいたしました。國と力と榮えとは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

- ・そろそろ期末・学年末の時期に入りますね。CSに出ることで生活にリズムを作り、元気をもらいましょう。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおささげしましょう。
- ・次週のお話も楽しみにしてください。

36 今までかけよう

八木浩史牧師

＜せいしょ＞

せいしょかしょ せいしょきょうかい きょうどうやく
聖書箇所「聖書協会 共同訳」 マタイによる福音書11章28~30節 (p20)

28 「すべて重荷を負って苦労している者は、わたしのもとへ来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。

29 私は柔軟で心のへりくだった者だから、私の轭を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。

30 私のくびきは負いやすく、私の荷は軽いからである。」

＜さんび＞

ぼくのこころのなかが

1. ぼくのこころのなかが いつもあかるいように
イエスさまぼくによろこび よろこびをください

* (くりかえし)

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤうたおう
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤアーメン

2. わたしのこころのなかが いつもやさしいように
イエスさまあいのこころを あいのこころください *

3. みんなのこころのなかが いつもたのしいように
イエスさまみんなといっしょに いつもいてください *



あたしいてんとちをみたとき

1. あたらしいてんと ちをみたとき
さいしょのせかいは すぎさりゆき、
あたらしいみやこ エルサレムは
はなよめのような すがたでくる。



2. てんよりみこえが ひびきわたる
「かみのたみとして うまれかわれ。
みかみはわれらと ともにいます」。
よろこべ、たのしめ、おどりあがれ。

3. かなしみのなみだ いまぬぐわれ、
なげきもしもなく ろうくもない。
ふるいものすべて すぎさりゆき、
みよ、しゅはすべてをあらたにする。

4. マラナ・タ、しゅイエスよ、おいでください。
せいなるこひつじ、あけのみょうじょう。
アルファよ、オメガよ、いのちのきよ、
つきないいづみよ、えいえんのしゅよ